

## 平成22年度 交通検討部会の成果

### 1. 昨年度の活動報告

#### (1) 開催経緯と検討内容

##### 第1回交通検討部会（平成22年10月13日）

---

- －事業者、利用者の視点から南口駅前広場の危険性の指摘

##### 第2回交通検討部会（平成22年11月14日）

---

- －「歩く」という視点からの駅周辺の歩行者空間の課題・問題確認
- －駅周辺の交通体系（道路ネットワーク）への疑問
- －都市計画道路3・4・10号線の交差点形状への疑問



●「まち歩きツアー」の様子



●グループの意見発表の様子

##### 第3回交通検討部会（平成23年2月17日）

---

- －国立駅周辺地域について交通の観点からの目標像
- －実現に向けた目標年度
- －検討の進め方

## (2) 昨年度検討の到達点

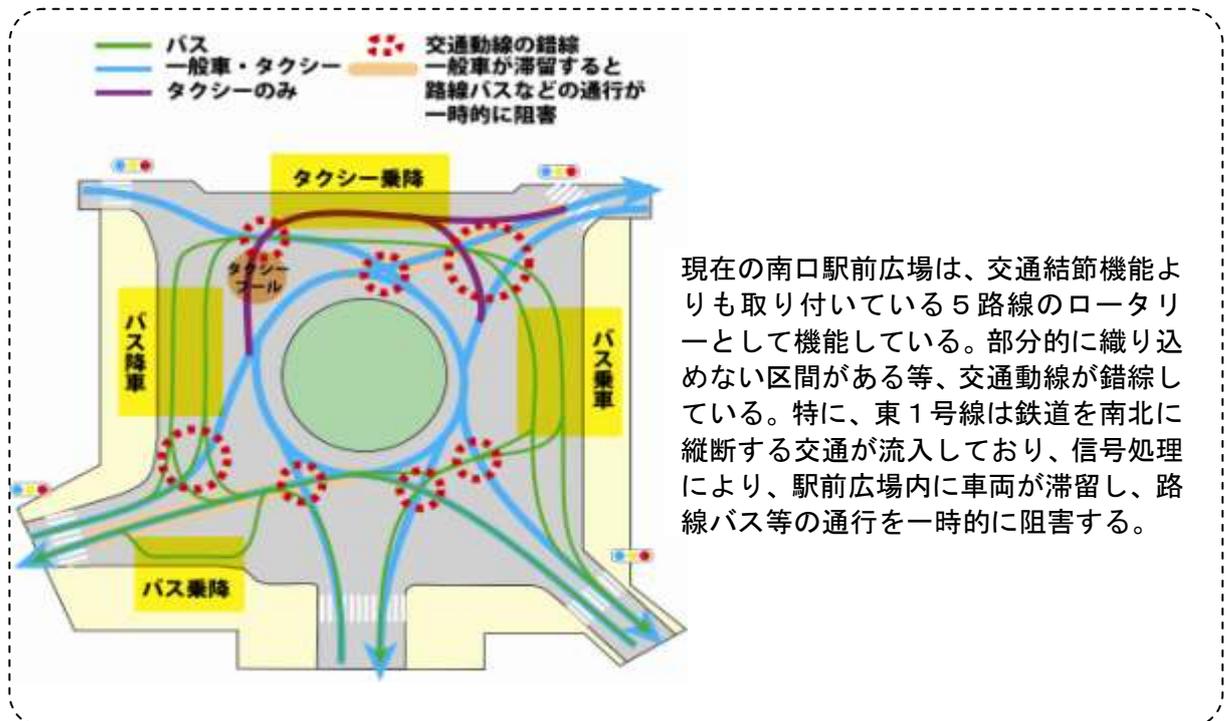
### ①目標：

歩行者、自転車、自動車等が共存し、お互いを意識しながら「低速で移動できるまち」

○国立駅周辺地域の道路は「車を通すためのもの」ではなく、佇み、交流するなどコミュニケーションの空間としていく。

○駅前広場については、人が歩くだけでなく、移動が不便な方などは車で駅の近くまでいけるという配慮もある空間としていく。

### ●国立駅南口駅前広場の交通動線



### ②検討の方向

- ・周辺の道路整備の進捗を見定めた上で、駅周辺の交通計画のあり方を合わせて、「交通まちづくり」の三原則を視点に、南北駅前広場のあり方を、交通シミュレーションによる検証を行いながら検討する。

### ●交通まちづくりを考える概ねの範囲

#### ●「交通まちづくり」の三原則

- ①通過交通の排除
- ②歩行者を優先した道路空間の再配分
- ③街路空間のデザイン



### ③今後の検討の進め方

- ・周辺の道路整備の進捗にあわせ、2段階で交通処理について考える。第一段階として平成32年(\*)を想定。

(\*)3・4・10号線の供用開始年。国立駅南口への通過交通の流入が減少する。

#### 段階的な道路整備による課題への対応の考え方

